

- 1 つぎの文章を読んで、**1** から **5** の中に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つえらびなさい。

若い人が「仕事がつまらない」「会社が面白くない」というのはなぜか。それは要するに、自分のやることを人が与えてくれると思っているからです。でも会社が自分にあった仕事を **1**。会社は全体として社会の中の穴を埋めているのです。その中で本気で働けば目の前に自分が埋めるべき穴は見つかるのです。

社会のために働けという封建的 ^(※1) だと **2**。「自分が嫌ける職場を見つけよう」というフレーズ ^(※2) のほうが適じやすいのかもしれませんが。しかしこれは嘘です。まず **3-a** があるのではなく、先にあるのはあくまでも **3-b** の方なのです。

向き不向きだけでいえば、私は仕事に向いていないとずっと思ってきました。仕事よりも虫取りに向いていると今でも思っています。虫取りをしている間、自分で全然違和感 ^(※3) がない。ただ、そればかりやっても食っていけないということはわかっています。

向いている虫取りをするためには、どうすべきかと考える。すると、財産も何もないし、とりあえず働くしかない。**4** 仕事には向いていないと思うけど、やめると言われるまではやっていたいいのではないかと思っているのです。

本気で自分の仕事は天職 ^(※4) だと思っている人はめったにいません。仮に虫取りが向いていても、それが仕事になっていいかということ、そうでもないでしょう。もしも虫取りが仕事になるとしてそれが **5** かといえぱうっかりすると重荷になってしまいうかもしれない。楽しんでいられることというのは、ある程度無責任だからこそなのです。

(養老孟司『超バカの壁』新潮社)

(※1) 封建的:古い考え方をする

(※2) フレーズ:phrase ひとまとまりの言葉、句

(※3) 違和感:自分の気持ちに合わない

(※4) 天職:その人にあった仕事、神から与えられた仕事

詳しいフィードバック！
読むための解説、答えるための解説が付いているので、
本文を正しく理解できます！

- 1**
1. くれるわけではありません 3. くれないわけにはいきません
2. くれていたのです 4. くれるわけでしょう
- 2**
1. 批判されかねます 2. 批判されるかもしれません
3. 批判されないはずだ 4. 批判されました
- 3**
1. a 社会 / b 会社 2. a 穴 / b 自分
3. a 自分 / b 穴 4. a 会社 / b 自分
- 4**
1. それとも 2. やつと
3. だから 4. せめて
- 5**
1. 軽い 2. 悲しい
3. 嬉しい 4. 苦しい